

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和3年度第3回西脇市上下水道事業審議会
開催日時	令和4年2月2日（水） 午後1時30分～4時00分
開催場所	西脇市役所2階 議会委員会室
出席委員の氏名又は人数	長峯委員、岡本委員、時政委員、見坂委員、臼井委員、藤原廣司委員、内橋委員、藤原悟委員、今中委員、足立委員
欠席委員の氏名又は人数	なし
出席職員の職・氏名又は人数	黒坂技監、田中部長、内橋課長、伊藤課長、岡本課長、藤本補佐、後藤補佐、松原補佐、吉山主査、藤原
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	1 議事 (1) 会議録署名委員の指名 (2) 下水道事業経営戦略見直し修正案について (3) 下水道事業経営戦略見直し答申（案）について (4) 水道ビジョン・経営戦略の改定素案について
会議の記録（概要）	
発言者	別紙のとおり
問合せ先	西脇市建設水道部経営管理課 TEL 0795-22-3111 FAX 0795-22-8573
委員の署名	
(会長)	<u>長峯 純一</u> <u>藤原 廣司</u> <u>足立 薫</u>

会議の記録（概要）

発言者	
会長	<p>○ 開会</p> <p>本日の審議会の会議録署名委員に藤原廣司委員と足立薫委員を指名します。</p>
	<p>○ 今回の審議会について事務局から説明</p> <p>○ 下水道事業経営戦略の見直し修正案について事務局から説明</p>
会長	<p>実績値と計画値を比べると、ほぼ計画どおりに推移していることから、最初に想定していた10年間の計画に沿って進めていきたいという内容であったと思います。ところで、新型コロナウイルス感染症の影響が、数字に表れているところはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>下水道使用料については免除等を行っていないことから、特に影響はありません。</p>
委員	<p>汚水処理原価について、汚水処理費の公費負担分が減少することからあまり下がらないとあります。公費負担分というのは、一般会計からの繰入のことでしょうか。</p>
事務局	<p>一般会計からの基準内繰入金が増えることから、汚水処理原価はあまり下がらないということです。操出基準に基づいて一般会計からの繰入を行っていますが、供用開始30年を経過すると高資本費対策に要する経費部分の繰入がなくなり、そういった部分で繰入金は減少していきます。</p>
	<p>○ 下水道事業経営戦略見直し答申（案）について事務局から説明</p>
会長	<p>下水道使用料の見直しについて、経営戦略の後半で少し触れられているが、水道料金の見直しについては水道ビジョン・経営戦略でかなり詳しく記載されてい</p>

ます。基本的には、水道料金と下水道使用料は整合性を取るべきです。下水道は雨水処理もあるが、汚水処理でいえば使用した水道水を排水するので、基本的には対応している訳です。両者合わせて検討していくことが必要であろうと考えます。現在の水道料金体系は実態と合わなくなってきた面があり、実態に合わせて効率性、公平性、財源の安定性等を考えて料金体系も変えていくべきであるということであれば、下水道使用料についても同時期に見直しを図ることがよいのではと思います。

それと、下水道施設も今後どんどん老朽化が進んでいきます。施設、管渠等の更新シミュレーションが29ページに掲載されておりますが、今回の計画期間ではありませんが、令和27年度以降に急激に多額の更新費用が発生します。一気に増えるので、財政的に負担できないことから、更新費用の平準化を図る必要があります。法定耐用年数を迎えて更新ということになると、多額の費用がかかることとなります。人口が減り収入が減少する中で、下水道使用料という形で住民に非常に大きな負担がかかることとなります。したがって、問題が発生しなければ、できるだけ長く使えるように長寿命化の取組みが必要になってきます。しかしながら、長寿命化を図ることによって、全体の目標として掲げている安全、安心といったことがおろそかになっては困るということです。更新すべきものは早期に行い、問題のないものはできるだけ長く使うというバランスを図ることが重要になってきます。そういったことを、今の時点から答申に盛り込むべきかどうかということです。

事務局

県内各市では、下水道の基本水量と上水道の基本水量が同じ市もあれば、違う市もあるという状況です。今回、下水道使用料について見直し、検討といったはっきりした形で入れていないのは、未だ一般会計からの基準外繰入金、赤字補てんを受けている状況にあるからです。将来の検討課題であるということで、答申にも若干触れるにとどめております。

令和27年度辺りから本格的な更新時期が来ますので、施設の老朽化については次の経営戦略で取り上げ

<p>会長</p>	<p>ていきたいと考えているところです。</p> <p>水道料金について、基本水量2カ月20^mというの は県下で一番高くなっています。ほとんどの世帯がもう 20^m使っていない、0^mの世帯もかなりあります。0 ^mの世帯も、10^mの世帯も、20^mの世帯も、現在は同 じ料金という訳です。全国的に基本水量を下げよう という流れがあります。そういう議論が近いうちに出 てくるであろうと想定して、下水道使用料についても水 道料金に合わせて考えていけばよいのではないかと考 えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>投資財政計画中の他会計繰入金のうち基準外繰入金 については、計画最終年度の令和8年度で収益的収支 分が1,081万6千円、資本的収支分が3億112万円と なっております。こういったものがなくなっていかな いと料金改定にはつながらないというのが鉄則です が、まず統廃合を進めることで基準外繰入金を大幅 に減少させているというのが現状です。</p> <p>それから、処理施設の更新についてですが、管路や 処理場の更新の中で一番費用がかかるのは処理場の更 新費用です。当初14処理場あったものを、まずコミュ ニティ・プラントを統合し、最終的には1処理場にす るということで、統合することにより更新費用を抑え てきています。長寿命化、投資の平準化については、 本市は平成6年6月に供用開始しており、法定耐用年 数50年として一番古いもので令和26年に耐用年数を迎 えることから、まだ具体的に考える時期に達していな いということです。</p>
<p>会長</p>	<p>答申案について、この案でよろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>ご承認いただきましたので、下水道事業については この内容で市長に答申したいと思います。</p> <p>○ 水道ビジョン・経営戦略の改定素案について事務局 から説明</p>

会長	<p>100ページ以上の資料となりますが、ご意見いただければと思います。</p>
委員	<p>旧経営戦略の評価について、収益的収支の説明では減価償却費の見込み違いなのか、平成30年度から計画値と実績値に乖離が見られるが、一気にはなかなか解決できないのではないのでしょうか。これから数年間をかけて乖離部分を少しずつ改善していかないといけないのではないかと思います。既に乖離の原因は確認されていると思いますが、早く問題に気付くということが大切です。また、他の数字も同様のことになるので、よく気を付けて対応していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>毎年、決算値と計画値との乖離状況などを審議会でご報告し、経営状況を確認いただいているところですが、乖離が大きいと目標達成していこうという思いとも離れていきますので、決算値に近い数字で見直しを行い、引き続き経営戦略の改定の中で精査していきたいと考えております。</p>
委員	<p>基準の変更等で乖離が生じている場合は仕方がないとして、計算が間違っていたということでは様々な計画の数字が基本から崩れてしまいますので、気を付けていただきたいと思います。</p>
会長	<p>どうしてそうなったのかという、乖離の理由や原因を詳細に記入していただければと思います。</p>
事務局	<p>理由がわかるように修正していきます。</p>
会長	<p>令和13年度までシミュレーションしたグラフがいくつか出てきますが、給水人口と水需要の見通しグラフをはじめ、最終年度にぐっと上昇するグラフが見られますが、その理由は何ですか。</p>
事務局	<p>素案の段階ということで、見込みとして最終年度に水を使う企業の誘致ができるという見込みに基づいて上げているというのが実態です。今から改定に当たり</p>

	<p>まして、そのような見込みをしてよいのか検討をしているところです。今後、素案の最終案で実態に即した見込みに修正していきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>収益的な面で最後の年度だけ少し上昇しているのは、水を多く使用する企業が来ることを想定しているということですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>企業誘致をするために水をいくら確保するということが設備投資が必要となってきます。その投資をできるだけ少なくするためには必要な時にすればよいという考えから、期間の最後に能力を上げるという形で計画を立てております。</p>
<p>会長</p>	<p>その前の年まではある程度実態を反映した数字を入れておいて、最終年度に希望が入った数値を盛り込むということですね。もし最終年度に企業が来てくれなくなると、水を用意するのにも費用がかかりますので、市民で負担しなければならないということになります。もっと早期に企業が来てくれれば、計画よりも実績の方がよくなるということも出てくるかも知れません。</p>
<p>事務局</p>	<p>この計画では、投資はまだしておりません。必要になった時にしていくということです。</p>
<p>会長</p>	<p>確認ですが、課題の優先度の設定のところ、レベル1からレベル3までありますが、順位はどうなっているのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今の業務事業等を勘案しながら、レベル1から優先度を設定しております。</p>
<p>会長</p>	<p>5年程度以内に解決を図るべきものがレベル1、10年程度以内に何らかのアクションを起こそうというのがレベル2、それ以外がレベル3ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうです。</p>

会長	ビジョンの中で具体的に盛り込むのは、レベル2の部分までですか。
事務局	10年間の部分をこの中に盛り込んでいきます。
会長	今日、承認いただきたいというのではなく、資料もまだ不完全な部分があるという説明でした。今日いただいた意見を踏まえて、足りない部分は事務局で追加してもらって、次回、完成版として議論いただき、ご承認いただければということによろしいですか。
事務局	今日のご意見等を出していただいて、それを踏まえ修正版を作成させていただきます。現状から申しますと、不完全な部分があり、修正点が多い状況です。具体的な最終プランを提示してご了承いただくということができない状況なので、今回の素案を基にして修正していくということでご理解いただきたいと思えます。
会長	数字的なものを最終的にチェックしなければならないということで、まだ時間がかかりそうです。次回の会議までに間に合えば完成版を見ていただけますが、まだ次回でも多少不完全なところが残っている可能性がある、その場合はもう一度お時間をいただくということです。そういう意味では、まだご意見を言っていない時間には十分にあります。ご意見をいただければそれを反映して、次回、完成版として出していただけるとのことです。この会議の中で出していただくか、かなりページ数が多いので持ち帰って読んでいただいてからでもけっこうです。
	○ その他、基本水量と基本料金の見直しについて及び今後の日程について事務局から説明
	(閉会)

